

全ての子育て家庭を対象とした「地域支援」のこれから —利用者支援事業の「地域支援」機能—

利用者支援事業と市区町村総合家庭支援拠点等の「地域支援」の連動の意義

「子育て家庭の孤立に対する都市自治体の対応に関する研究会」

2021年8月30日（月）13:00～15:00

ZOOM

関西学院大学 橋本真紀

研究会の目的と主要な検討事項

目的：

「主に、就学前の子どもを持ち孤立する恐れのある家庭への都市自治体の対応として、居場所づくり、コミュニティ（NPO法人、地域住民、社協、SNS、企業等）との関係づくり、行政のあり方等の面から先進事例等を踏まえて検討し、今後の都市自治体が果たすべき役割を展望する」

主な検討事項:

①子育て家庭の孤立の現状

②子育て家庭の孤立を防ぐための居場所づくり・関係づくり
➡ 居場所づくりから関係づくりへ

③子育て家庭の孤立に対応するための都市自治体の行政のあり方

全ての子育て家庭を対象とした「地域支援」のこれから －利用者支援事業の「地域支援」機能－

- 利用者支援事業と地域子育て支援拠点事業の「地域支援」とは
- 地域子育て支援拠点事業と利用者支援事業で「地域支援」が展開される意味
- 地域子育て支援拠点事業と利用者支援事業の「地域支援」の働き
 - 地域子育て支援拠点事業や利用者支援事業の「地域支援」の働きとは何か？何をしたらいいのか？
- 専門機関の連携と地域の人びとのつながり
 - 地域のはつながりは子育て家庭や子どもにとってどんな意味があるの？

利用者支援事業とは

基本型

「利用者支援」と
「地域連携」を同
時並行的に展開

家庭が地域の中に子育てをす
るための体制をつくることを
支える。

特定型

利用者と保育サー
ビスのマッチング

複雑化、多様化した子育て・
保育サービスと利用者をマッ
チングする。

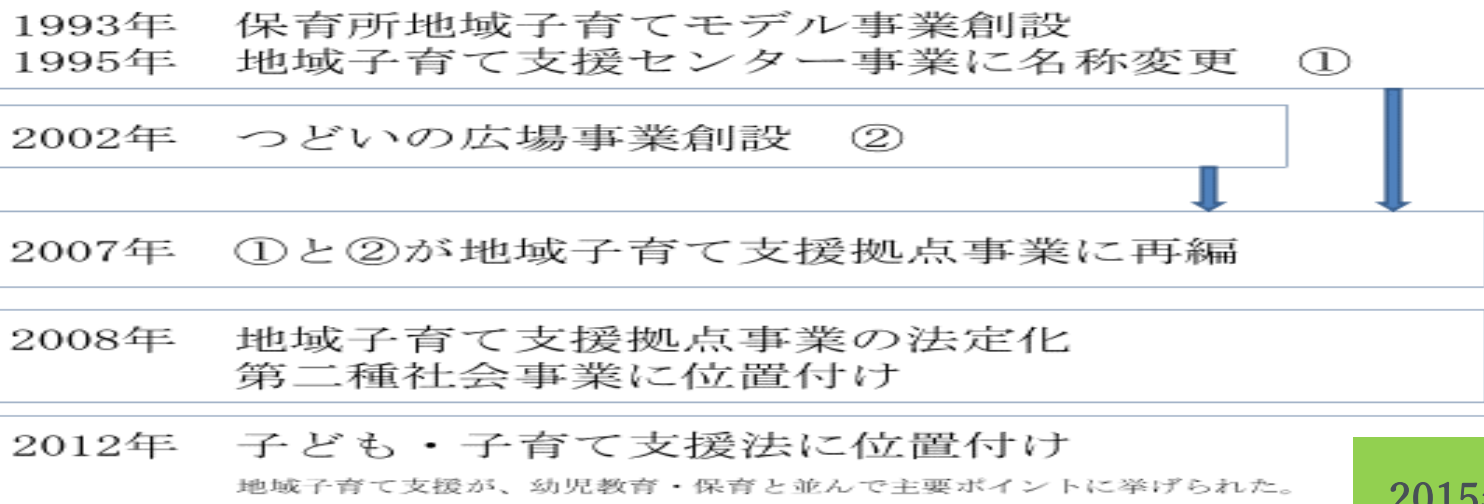
母子保健型

妊娠期からの包括
的な母子保健事業
の展開

妊娠期から子育て期までの切
れ目のなく母子保健事業を展
開する。

地域子育て支援拠点事業と利用者支援事業の 「地域支援」の政策的経過

地域子育て支援拠点事業の政策的推進



■ 「地域共生社会」の実現に向けて

2017年 子育て世代包括支援センターや市区町村子ども家庭総合支援拠点の創設
それらの機関と連携し、地域における包括的な支援体制の一部として機能

地域子育て支援拠点事業の「地域支援」利用者支援事業の「地域連携」

各事業の実施要綱より

加算事業

地域子育て支援拠点事業【地域支援】

地域支援

- ・ 高齢者、地域学生等地域の多様な世代との連携
- ・ 地域の団体と協働して伝統文化や慣習、行事の実施
- ・ 地域の子育て支援の発掘・育成を行う取組
- ・ 本事業を利用したくても利用できない家庭に訪問支援等を行う取組み

利用者支援事業の【地域連携】

- ・ より効果的に利用者が必要とする支援につながるよう、地域の関係機関との連絡調整、連携・協働の体制づくり
- ・ 地域に展開する子育て支援資源の育成
- ・ 地域で必要な社会資源の開発等
→地域における、子育て支援のネットワークに基づく支援

地域子育て支援拠点事業と利用者支援事業で「地域支援」が展開される意味

ソーシャルワーク機能と母子保健機能の一体的展開

2017年施行
子育て世代
包括支援センター

保健師・利用者支援専門員等

2017年施行
市区町村こども家庭総
合支援拠点

連携

子育て世代包括支援センターの設置運営
について(通知)H29年

連携

地域子育て支援拠点事業
利用者支援事業

地域子育て支援拠点事業と利用者支援事業で「地域支援」が展開される意味

地域子育て支援拠点事業

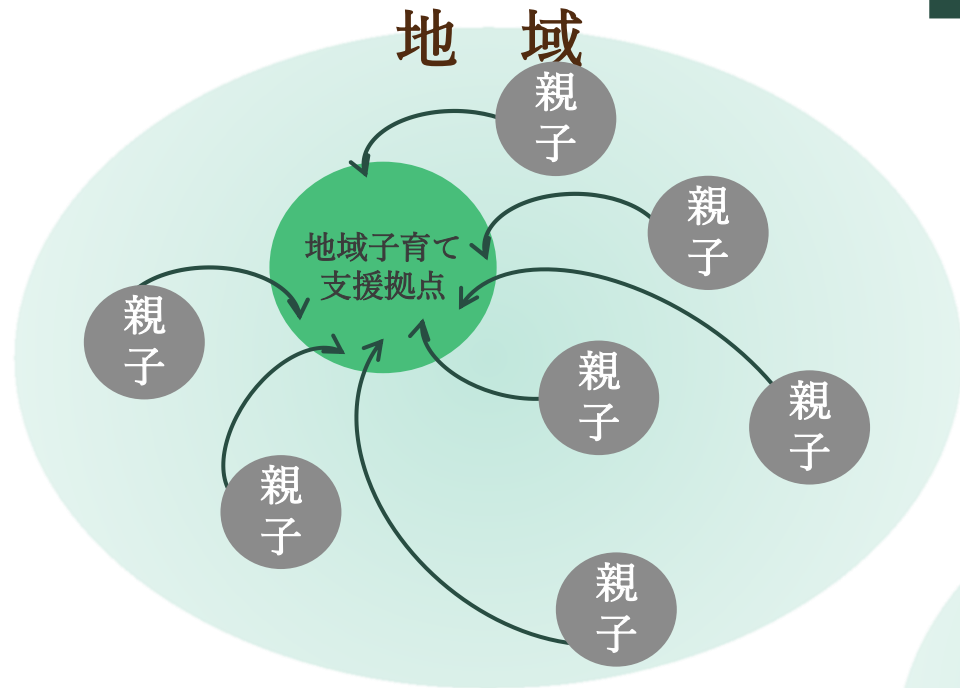
+利用者支援事業

(地域機能強化型)

2015年～

地域の中の資源=人の関係をつなぎ、その関係性の中に親子をつないでいく。

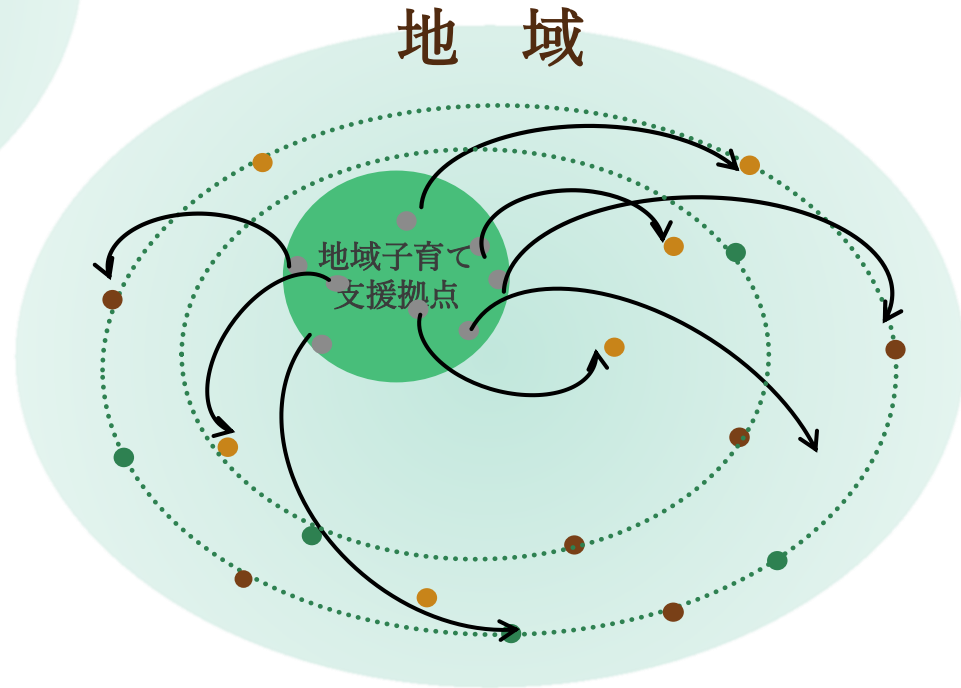
地 域



地域の中に親子が集う場ができた。

1990～2010年代

地 域



地域子育て支援拠点事業と利用者支援事業で「地域支援」が展開される意味

◆ アウェイ育児

拠点事業を訪れる家庭の 72.1% が「自分が育った市区町村以外」の地域で子育てをしている。 NPO 法人子育てひろば全国連絡協議会（2015）

◆ 特別な支援を必要とする可能性がある家庭の利用（複数回答 n=206カ所）

発達の遅れや障がいのある子どもの家庭	85.90%
多胎児の家庭	81.50%
ひとり親家庭	79.00%
高齢出産の家庭	74.10%
外国籍の家庭	70.70%
若年出産の家庭	58.50%
親に障がいがある家庭	44.40%
子育てと介護をしている家庭	42.90%
避難してきた家庭（震災やDV）	35.10%
経済的に困窮している家庭	32.20%

「親子の交流の場の提供を中心とした地域子育て支援事業の実践状況等に関する調査研究報告書」
（平成28年度子ども・子育て支援推進調査研究事業 関西学院大学 研究代表者 橋本真紀）

地域子育て支援拠点事業や利用者支援事業が「地域支援」でつなぐもの

Bonding (きずな)

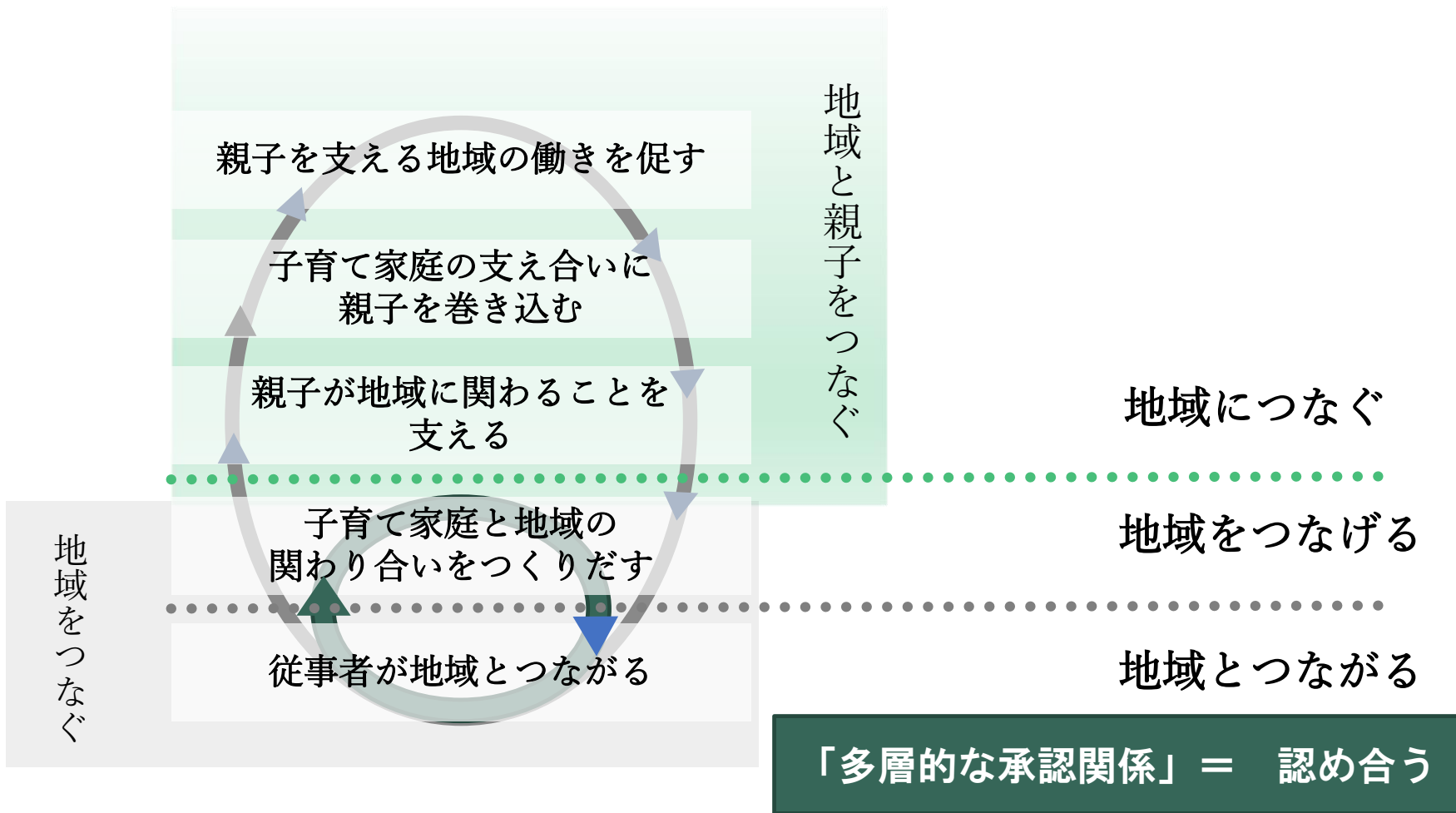
… 同じ立場の当事者同士をつなぐ。

Bridging (橋渡し)

… 異なる環境にある人々をつなぐ。

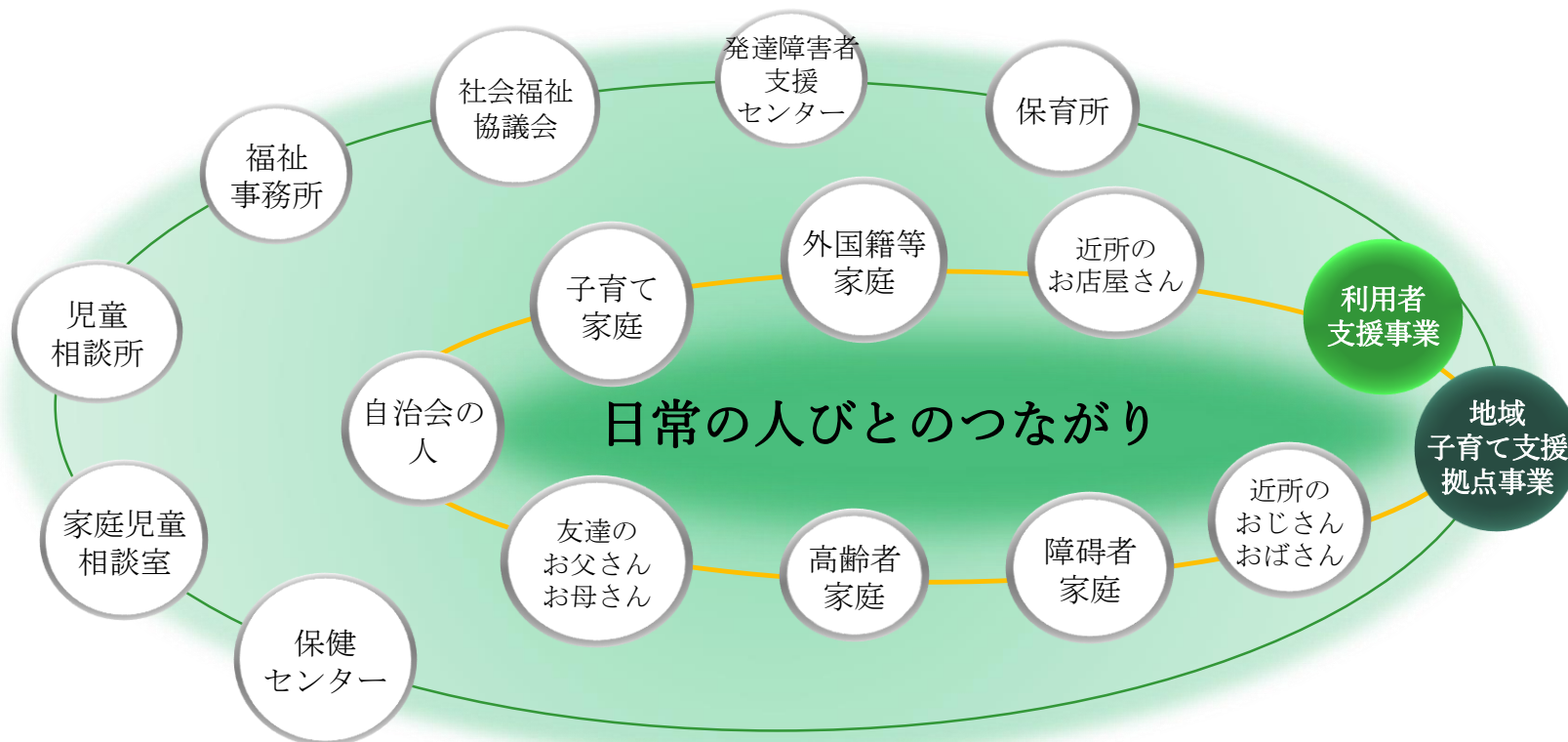
ロバート・パットナム (Robert.D.Putnam)

地域子育て支援拠点事業と利用者支援事業の「地域支援」の働き



橋本真紀・倉石哲也（2020）「子育て家庭支援における「地域支援」機能の検討—子育て家庭の社会的包摂を展開する取り組みの検討から—」武庫川女子大学大学院臨床教育学研究 33-51.

1. 地域とつながる



専門機関がつくる連携

2. 地域をつなげる

■ 人々の中に「気にかける」関係をつくる。

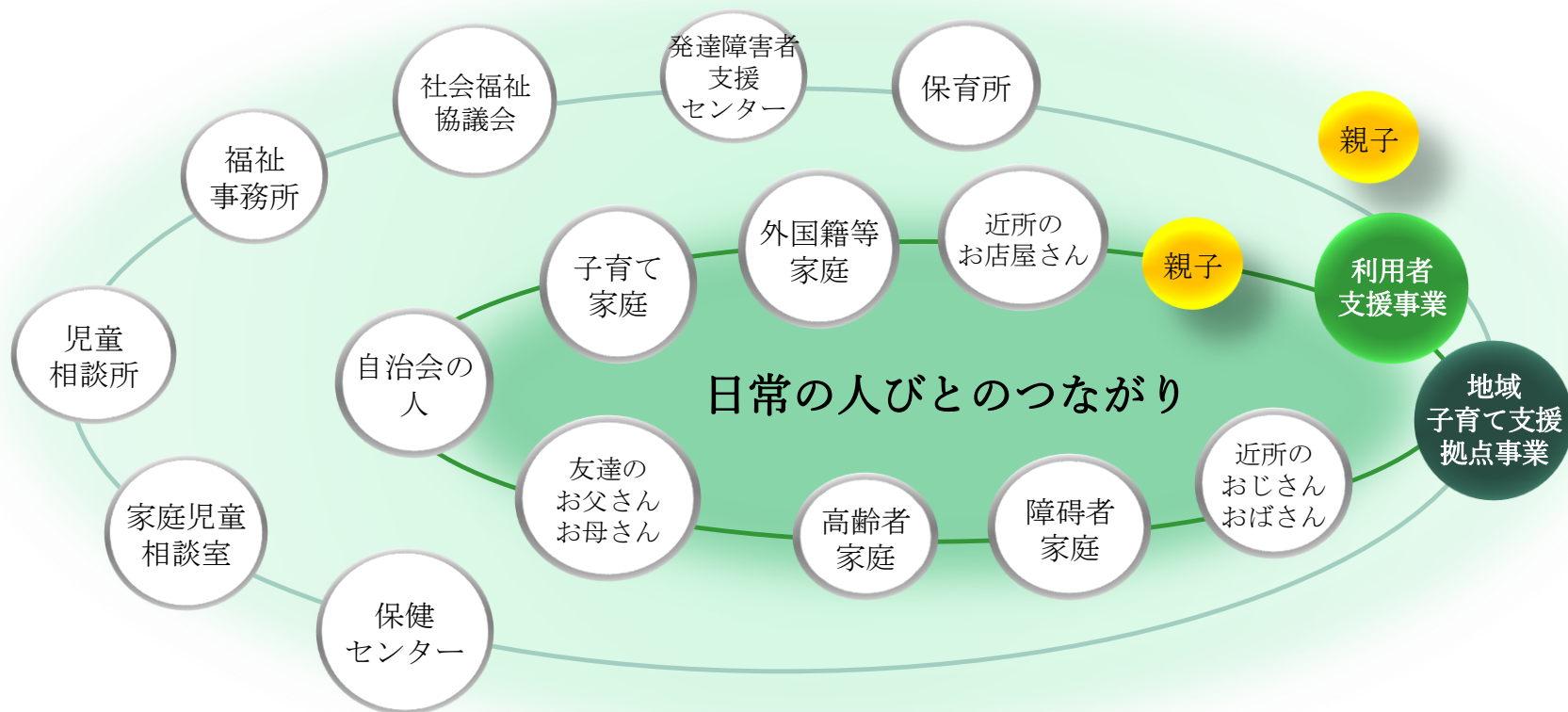
- ・ 「笑顔や温かい視線を向ける」
- ・ 「声をかける」
- ・ 「あいさつする」
- ・ 「立ち話をする」

肯定的な傍観者を
増やす



地域の機関や活動をつなぐだけでなく、
「人々」をつなぐ。

3. 地域とつなげる



専門機関がつくる連携

特質：何かの時にあつまる。専門的な支援を合理的に集中的に提供できる

地域子育て支援拠点事業と利用者支援事業の「地域支援」の働き

- 家庭が地域の中に子育てをするための体制をつくっていくことを支える。
- 近所の人、子育て中の他の家庭、友達、親戚等、だけでよい家庭もある。
- 専門機関の支援を必要とする家庭もまた、近所の人、子育て中の他の家庭、友達、親戚等からの支援も必要としている。



■ 子育て家庭にとっての「**普遍的な支援**」である。

by Prof. Mchel Vandebroek

- 「暮らし」の中の親子をみて、関わっていく。
- 「暮らし」の中では、その人が発揮する力がみえる。

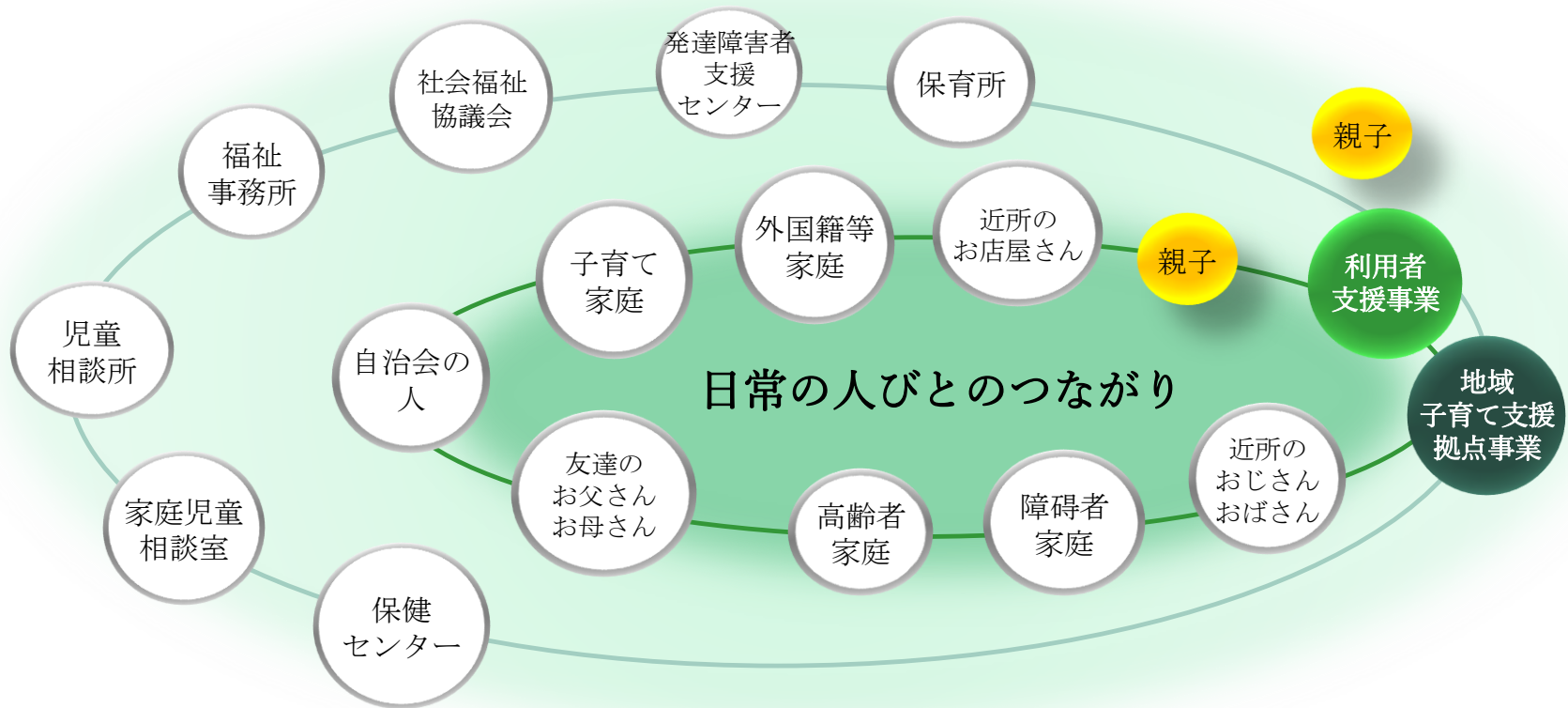


- 「暮らし」の中で、人々との関係の中でその人がその人自身の力を発揮することを支える（ことができる）。

専門機関の連携と地域の人びとのつながり

「つながり」の結果は、子どもが育つ環境になる

子どもが育つ環境



専門機関がつくる連携

参考・引用文献

橋本真紀（2015）「地域子育て支援拠点事業の政策的展開と課題」『地域を基盤とした子育て支援の専門的機能』 ミネルヴァ書房.

橋本真紀（2017）全ての子育て家庭を対象としたソーシャルワーカー—子育てに困り感を抱える親たちへの支援とソーシャルワーカー— ソーシャルワーク研究 Vol.43 No.1,24-33.

橋本真紀（2018）「包括的な子育て支援体制における地域子育て支援拠点事業の可能性」厚生労働省 国立社会保障・人口問題研究所 社会保障研究 第9号 子ども子育て支援新制度の成果と課題,256-272.

橋本真紀・倉石哲也（2020）「子育て家庭支援における「地域支援」機能の検討—子育て家庭の社会的包摂を展開する取り組みの検討から—」武庫川女子大学大学院臨床教育学研究 33-51.

Vandenbroeck,M. （2020）「包括的な家庭支援における「子育てひろば」の可能性—EUでの実践に学ぶソーシャル・インクルージョンと多様性保障の取り組み—」関西学院子どもセンター地域の子ども・子育て支援事業開設10周年記念講演会録 11-56.